

広報

かわじ

第47号

発行 川路まちづくり委員会 編集 総務企画部 印刷 ㈱秀文社



被災した住宅

昨年9月13日、千曲川が氾

す。

続くど錯覚してしまいそう

の穏やかな状態が、ずうと

きく変わった姿を見ると、こ

終わり、企業誘致も出来て大

平成14年、堤防の高上げが

りません。

です。残念ですが記憶にはあ

いています。私は84年生まれ

らも大きな支援を受けたと聞

飯田市から、そして自衛隊か

田市に合併したばかりでした。

した。その年の3月末に、飯

土川路は大きな災害を受けま

昭和36年6月、私たちの郷

蓋して大きな災害が発生しま

まさか、こんなことに…

建設安全委員長 牧内 幸雄

千曲川の災害を自分たちの

ことと考え、「三六災害」時

にはたいへんお世話になった

恩返しのお気持ちを込めて、単

に視察に留まらず出来ること

をお手伝いしようと計画しま

した。

残念ながら、事務局の精一

杯の努力も叶わず、ボランティア

ア活動は実現できませんでし

た。しかし、災害現場を目の

を迎えます。

月12日から増えて、千曲川の

水位が刻々と上昇してい

避難先は、三才の高台と定め

ていたが、弱者には遠い。緊

迫した状況下で、再選択を迫

られる。そこで、三才の高台

よりも近い、古里小学校へ避

難を呼びかけたのである。弱

きつぱりと云

出来事だった。

予想もしない

開口一番、

から、被災状

況を伺った。

柳原公民館

で、長沼地区

長の柳見沢氏

から、被災状

況を伺った。

開口一番、

予想もしない

出来事だった。

きつぱりと云

い、無念の表

情を浮かべた。

台風19号によ

る雨量は、9

長沼地区の水害見聞記

総務企画部 原田 重幸

台風19号の被災地

長野市長沼地区を訪ねて

被災された方々

の終り出すよう

な生の声も聞く

ことが出来まし

た。

ハザードマ

プにあるような

大災害が起こるかもしれない。

もし起こった時には、どのよ

うに行動するのか、真剣に考

え準備を進める事が必要だと

改めて強く思いました。

来年、三六災害から60周年

を迎えます。



妙笑寺の水位標

翌13日の未明、堤防が決壊

した。濁流が住宅地やソコ

畑に流れ込んで、一帯を泥が

覆い尽くした。妙笑寺の境内

に残る記録の、2番目の水位

となった。県も市も被災時の

対応が後手後手で、情報は混

乱するし、復旧が遅々として

進まない。不満が役員に向け

られた。柳見沢氏もまた被災

者だったが、自分のことは後

回しだった。行政側との遣り

取りに、ずいぶんストレスを

1年を振り返って

まちづくり委員長 中島 千明

世の中は、新型コロナウイルス

ルス対策一色の、令和元年度

末となりました。

まちづくり委員会は、今年

度「豊かで活力ある安全・安

心な川路」をめざし、情報共

有を大切に考えて「役員会便

り」や「お知らせ版かわじ」

で、適宜な話題や行事をいち

早くお伝えしました。十月か

らは、ホームページを公開し

て、スマホ等からでも、情報

を得ることが出来るシステム

を作りました。

「川路に帰ろうーキャンペーン

」を実施して、この地を離



延長保育 (室内)

私が考える川路の未来デザイン

4区 高校生 代田 圭佑

他にも、「川路居住意章」

のより深い理解、「土地利用

計画」の見直しを進めて参り

ました。また、昨年11月に完

成した天龍峡大橋、天龍峡P

Aは、観光客の増加が見込ま

れます。天龍峡一帯の観光は、

それに携わる一部の人たち

のためではなく、地域の宝とし

て、ここを訪れた人たちに、

私たちが誇りを持って、川路

を見せるものと考えます。ま

さに、「訪れてよし、住んで

よし」の川路にしていきたい

と思います。

皆様方のご理解とご協力を



信州あいさつ運動

いやり」を持つことが大切だ

と思います。ここでいう「当

たり前ではない思いやり」と

は「道を渡ろうとしている人

のために、車側が止まってあ

げる」等の、他人への無償の

思いやりのことです。

この思いやりを意識する人

が増えれば、地域の環境やイ

メージの向上に繋がり、地域

のアピールポイントにもなる

と思います。

これからの川路が、もっと

思いやりの溢れる過ごしやす

い地域になって、人が増えて

いくといいなと思います。



三才南宮自動車道開通式

より、無事、令和元年度を終

えることが出来ました。あり

がとうございました。



千曲川堤防決壊

(3) 令和 2 年 3 月 25 日
 広報 かわじ
 第 47 号



爽やかな街に変え、子供たちが戻って来たくなる街にしようと天龍峡相生「花いっぱい運動有志の会」が結成され、飯田市のアトス支援を受けて活動をして参りました。秋のトリア菊の展示をメインに、春のフランチ「花いっぱい運動、そしてミニ公園の造成を進め、区民の憩いの場が出来つつあります。令和元年度はトリア菊を欲鉢展示出来まし



区で 2 番目に戸数の少ない一区は、川路地区で 2 番目に少ない戸数編成しています。区のすべての行事は全戸参加で、和気あいあい協力活動し以上に加増する嬉しい状態もなっています。子育て世代も増え、幅広い年齢層の交流の場を増やす試みとして、祇園祭はもちろんです。今年度は収穫祭を行い、区民の御厚意で提供した物品等で競りを行い、老若男女みんなで一緒に披露して好評をいただきました。そして今年で結成 12 年目を迎えるオヤジバンドの皆さん、いつも寿祭を賑やかにしてくださいませ。小さな区で多彩でまとまりがあることが二区の自慢です。



二区区長 今村章次

昨秋には天竜川を跨ぐ天龍峡大橋が開通しました。溪谷の自然と緑の共演、「そらささんば天龍峡」からの眺めは素晴らしいものです。天龍峡公園とのアクセスも徐々に整備されつつあり八区の未来には明るいものがあります。



川路の歴史に乏しい私にとって川路のまじや八区の自慢と言ってもむしろ気になってしまふことの方が目だってしまうのは悪い性格です。それでも、八区にある幾つか思いあたる中で、唯一挙げるならば、膝元には南信州の玄関口である三遠南信道の天龍峡 IC ができ交通の利便性が非常に高いことです。



八区副区長 塩野入都雄

主役の元気な区、それが自慢の三区です。区民全員が携わっています。区民全員が区の活動に参加し、主体的に大人まで一人一人が積極的にのようになり、学生、学生、なっている上りまじりました。こ

二区は 10 年ほど前までは 30 戸ほどの小さな区でしたが、川路駅前が出来たことで 30 戸以上、現在 50 戸以上に増加する嬉しい状態もなっています。子育て世代も増え、幅広い年齢層の交流の場を増やす試みとして、祇園祭はもちろんです。今年度は収穫祭を行い、区民の御厚意で提供した物品等で競りを行い、老若男女みんなで一緒に披露して好評をいただきました。そして今年で結成 12 年目を迎えるオヤジバンドの皆さん、いつも寿祭を賑やかにしてくださいませ。小さな区で多彩でまとまりがあることが二区の自慢です。



三区副区長 中平重秋



川路消防団は多年にわたる少人数での活動を行っています。この入賞で少数でも精銳が揃う分団だと思っております。これからも地域の安心と財産を守る為の活動を行っています。またと思います。



日頃より消防団 中島陽一

10 数年前より公園として、毎年桜、花桃、さつきなどの苗木を植え続けてほぼ植樹は完了しています。整備は、全区民で年々 2 回以上、旭公園愛好会(会員 20 数名)の皆さんが毎月 3 回以上実施しています。又、平成 26 年 3 月に区内の最小上段は太い樽の木を舟形に

四区区長 岡島久米男
 川路公民館西側に、四区区民が整備を続けています。始めはマレットゴルフ場でしたが、危険がある為、区長 OB の方々と相談の結果新しく建替える事になりました。甲子社は川路八幡宮と同じ位の歴史が有ります。五区区民の先人の方々から現在に至る迄大切に守って来ました。この鳥居は前回建て替えたのが昭和 11 (子) 年 10 月 6 日と記録されています。



四区区長 岡島久米男

土地を管理する組合は、創立から今年足掛け 20 年になりました。組合員数は 80 名、現在 17 の企業やお店が操業しています。川路のメイン通りを預かっていますので、通行する方にも良い印象を持ってもらえるよう環境の整備などと考えています。



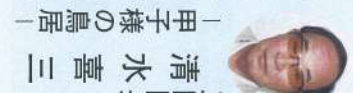
土地管理組合長 今村正大
 皆さん、ご心配をお掛けしました。一昨年度縦したかぶちゃん農園の用地に、蕎麦屋さんなどの新しい企業が入り以前より賑わっているように感じませんか。今年 8 月にはささと東が操業を



土地管理組合長 今村正大

五区区長 清水喜三
 甲子様の鳥居一社、祇園祭・収穫祭があり行事、祇園祭・収穫祭があります。特に収穫祭では、区民より沢山の野菜の提供を頂き、大釜でおでん・豚汁・味ご飯が準備されています。早 10 年近く続いている、六区の伝統となっ

五区区長 清水喜三
 甲子様の鳥居一社、祇園祭・収穫祭があり行事、祇園祭・収穫祭があります。特に収穫祭では、区民より沢山の野菜の提供を頂き、大釜でおでん・豚汁・味ご飯が準備されています。早 10 年近く続いている、六区の伝統となっ



五区区長 清水喜三

炊き出しは、子どもからお年寄りまで大勢に提供するため、衛生的且つ効率的に美味しく作るための講習や訓練をします。救急法は、けがや病気に対する正しい手当の知識と技術を知り、自分自身を守り、周囲の安全を守り、時に和気あいあいと活動しています。



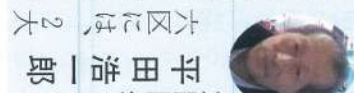
六区区長 平田浩一郎
 六区には、大シャースとすべて手作りで、五区区民のお祭りの祝宴は、今年も御名余りが参加。宴会で使うお皿・お椀・箸・コップは各自持参して、終われば持ち帰る事により、大変だっ



日赤奉仕団分団長 中平早苗

六区区長 平田浩一郎
 六区には、大シャースとすべて手作りで、五区区民のお祭りの祝宴は、今年も御名余りが参加。宴会で使うお皿・お椀・箸・コップは各自持参して、終われば持ち帰る事により、大変だっ

六区区長 平田浩一郎
 六区には、大シャースとすべて手作りで、五区区民のお祭りの祝宴は、今年も御名余りが参加。宴会で使うお皿・お椀・箸・コップは各自持参して、終われば持ち帰る事により、大変だっ



六区区長 平田浩一郎

六区区長 平田浩一郎
 六区には、大シャースとすべて手作りで、五区区民のお祭りの祝宴は、今年も御名余りが参加。宴会で使うお皿・お椀・箸・コップは各自持参して、終われば持ち帰る事により、大変だっ